

『子どもの笑顔を輝かせる』 白糠町土俵 プロジェクト

第65代横綱 貴乃花光司さんトークショー

幼少期は「あいさつ」や「ご飯の食べ方」など、父親からは力士ではなく、社会人としての常識やマナーを厳しくしつけられた、と話す貴乃花さん。また、相撲部屋へ入門した1カ月間は、ふとんの中で涙をこらえながら頑張って稽古を続けました、と話していました。



「よいしょー」と 大きな掛け声が響いた 横綱の土俵入り

「雲竜型」の土俵入りを披露する貴乃花さん。右手を斜め前方に伸ばし、左手は脇につける雲竜型。現役時さながらに高々と足を上げて、力強く土俵を踏んだ時に、会場からは「よいしょー」という大きな掛け声が上がっていました。



貴乃花さん監修「塩ちゃんこ」のふるまい

「塩ちゃんこ」は、町女性団体連絡協議会の皆さんが調理し、貴乃花さんが最後に味を調べて完成。大鍋で煮込まれ、野菜がたくさん入った「塩ちゃんこ」は、「出汁が出ていてとてもおいしい」と大評判でした。



貴乃花さんと司会を務めた南美希子さんとの記念撮影会。来場者は、会場の中央に設置された土俵の周りに集まりました。



ちょっと簡単だったかな？ 相撲○×クイズ

「土俵はコンクリートでできている」「土俵の上にかく粉は小麦粉である」など、相撲にまつわるクイズが出題されました。土の土俵で裸足で相撲をとることで、免疫力を上げる効果もあるそうです。



四股踏み体験

「四股踏みは簡単に見えるかもしれませんが、足腰を鍛えるのに最も効果があります」と貴乃花さん。「何度か繰り返すと息があがってくるのですが、白糠の子どもたちは息があがらなくて強いですね」と感心していました。

7月31日、第65代横綱貴乃花光司さんを招いた、子どもの笑顔を輝かせる「白糠町土俵プロジェクトサポーターティッドバイふるなび」をスポーツ広場で開催しました。

同プロジェクトは、2019年6月20日、貴乃花さんの理念と「子育て応援日本一の町」として、さまざまな子育て支援を行っている本町が、ふるなびの協力を得て企画。新型コロナウイルスの影響で、延期となっていました。今年、ようやく開催することができました。

貴乃花さんは現在、相撲道を通じて、礼節や食文化など、子どもたちの育成に取り組むと共に「ふるなび」のCMに出演しています。

土俵プロジェクトには、町内の子どもたちをはじめ、約350人が来場しました。貴乃花さんは、子どもたちと一緒に四股踏み体験を行いながら「四股踏みをするので、足腰が丈夫になります。どんなスポーツをやるにしても基礎的な体力が身につくので、ぜひやってほしい」と力説しました。また、イベント

トでは「相撲○×クイズ」や「横綱の土俵入り披露」「サイン入り色紙のプレゼント抽選会」などが行われました。

最後は、町女性団体連絡協議会の皆さんが調理した、貴乃花さん監修の「塩ちゃんこ」がふるまわれ、貴乃花さんから来場者一人一人に手渡されました。

貴乃花さんは「ようやく白糠町に来ることができて幸せです。白糠の子どもたちは、みんな足腰が強く驚きました。日ごろから自然の中で、伸び伸びと過ごしているから強いのもかもしれませんね」と話していました。

貴乃花さんにインタビュー



白糠町は、自然が豊かで資源が豊富にあります。また、太陽光発電やバイオマスエネルギーなど、再生可能エネルギーへの取り組みも先進的に行われており、とても将来性を感じました。空港からも近く、東京からは飛行機で1時間半の距離です。

ですので、これからは、もっと白糠を訪れる人が増えてくると思います。今日は白糠も暑かったのですが、子どもたちは元気いっぱい、私も一緒に楽しむことができました。機会があれば、またぜひ、白糠町を訪れたいと思います。